

令和2年5月11日

市民の皆さまへ

緊急事態宣言の延長、愛媛県の対応を受けてのお願い

今治市長 菅 良二

ゴールデンウィークをステイウィークとして、市民の皆さんに今治市内から出ないでほしい、市外から家族を今治市内に戻さないでほしいとお願い致しました。大変ご不便をおかけしましたが、ご協力本当にありがとうございました。

現在（5月11日）、我が今治市において感染者はでていません。これは、市民の皆さん、そして事業者、最前線で活躍している医療現場や介護、保育といった福祉施設など、オール今治の皆さまのご理解とご尽力の賜物であり改めて感謝申し上げます。

5月6日までとされていた緊急事態宣言は5月31日まで延長され、まだ、全ての都道府県が対象となっています。愛媛、そして我が今治もまだまだ予断を許さない状況にあります。

しかし、今は、この手強いウイルスと向き合いながら、社会経済活動を行っていかねばなりません。国が公表している「新しい生活様式」を市民の皆さんとともに共有し、実践していくことが重要であります。

警戒は引き続き必要です。気を緩めず、次の3つの行動を、改めてお願いいたします。

- ① うつらないよう自己防衛、うつさないよう周りに配慮、
- ② 県外の外出自粛と3密回避の感染拡大回避行動を行ってください。

市民の皆さんには、あなた自身やあなたの大切なご家族を守るために、そしてふるさと今治を守るため、ご協力をお願いいたします。

さて、これまでの不要不急の外出の自粛により、特に観光、宿泊施設、飲食業の皆さんには売上の激減という大きな打撃を受け、苦境に立っておられ、その影響は計り知れないものがあります。国の助成制度など様々な経済支援策の申請について、サポートを行っていますので、ぜひご相談ください。

また、10万円の特別定額給付金については、大量の印刷物や封筒の準備、給付システムの整備など、市内企業の誠意あふれるご協力もいただき、郵送申請書を5月15日からお配りできるよう、スピード感をもって、市職員全力で取り組んでいます。

一方、市民の支援の輪の広がりにも感謝しています。例えば、飲食事業者を応援しようとするテイクアウトの広がりです。家庭でいつもと違う料理を味わっておられますか。そうした地道な活動は、今治地域の経済貢献にもつながります。ぜひご協力をお願いします。

次に、小中学校の再開についてお知らせします。5月10日までの休業期間中、子供たちに大変不便な思いをさせ、保護者の皆様におかれましても学習の遅れや体力の低下など子供の成長や心の影響など心配が尽きなかったかと思えます。

5月25日、全面再開を目指して、11日と22日を一斉登校日、12日から21日までは分散登校としてまいります。再開に向け現場の先生方も、感染防止対策をしっかりと行った上で、1日も早く充実した学校生活を送れるよう最大限努力していますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

繰り返しになりますが、気を緩めず、

①「自分が感染しないための行動」

②「ほかの方々に感染を広げない行動」に気をつけてください。そして、

③「県外への外出の自粛」特に、感染者が多発している地域、13の「特定警戒都道府県」への出張や旅行は厳しく自粛してください。また、13の「特定警戒都道府県」からのご家族や知り合いの帰県・来県は、控えるようお伝えください。

13 都道府県（東京、大阪、北海道、茨城、埼玉、千葉、神奈川、石川、岐阜、愛知、京都、兵庫、福岡）

本市の場合、現在まで感染者は出ておりません。少しばかり夜明けが近いと思っております。しかし、警戒を緩めれば一気に拡大してしまう懸念のある本当に厄介なウイルスです。

そのため、今後も脇を締めて警戒していく必要があります。こんな時にこそ冷静さを失わず、また、人を思いやる気持ちを忘れずに市民一丸となってこの国難を乗り越えていきましょう。

皆さん、どうか、前を向いて感染症対策を講じていけば、かならず、明日への光明が見えてきます。今が踏ん張り時です。ともどもに、頑張ってください。よろしくお祈りいたします。